令和6年度 部局経営方針

±	吊名(課名)	教育委員会	部局長名	堀田 浩一		令和6年7月1日	現在
	職員	数(人)	6月補正後予	算額 (千円)	令和6年度中に策定予定の計画	(根拠法令等)	
部局	正職員	58	一般会計	1,972,842	•日向市文化振興計画(文化芸術基本法)		
の		(兼務7)	特別会計	0			
経	再任用職員	11					
営	サエバが映	''	前年度繰起	或額(千円)			
資	会計年度 任用職員	120	一般会計	2,860			
源			特別会計	0			
	任期付職員	0	1寸ルス引	U			

【基本姿勢】

「第2次日向市総合計画・後期基本計画」(令和3年度~6年度)に掲げる将来像「海・山・人がつながり 笑顔で暮らせる元気なまち」の実現に向け、「ふるさとを愛し心豊かな人が育つ、個性が尊重されるまち」を目指し、各施策に取り組みます。

快適な環境の中で互いに学び合い、それぞれの個性を伸ばし、自分で考えて行動できる「生きる力」を身に付けた子どもの育成を目指します。 地域社会が一体となって子どもを守り育むことで、郷土の文化や資源に誇りを感じ、ふるさとを愛する人材の育成を目指します。 人権が尊重され、互いに認め合い、それぞれの個性を生かしながら幸せに暮らせる社会の実現を目指します。

【総合計画·基本理念】

- (1)人権尊重
 - 〇一人ひとりが尊重され、誰もが自由に個性と能力を発揮し、平和を尊ぶ心を育む教育を推進します。
- (2)市民協働
 - ○学校、家庭、地域が連携しながら、ふるさと日向市を愛する心豊かな人材の育成を目指します。
- (3)地域力活用
 - ○学校、家庭、地域が連携しながら、子どもを守り育むことで、社会に貢献する人材を育みます。

【総合計画·基本目標】

- 01-01 生きる力を育む教育の推進
- 〇「小中一貫教育」、「キャリア教育」、「コミュニティ・スクール」の三位一体の教育を柱に、地域とともにある学校づくりに取り組みながら、 学ぶ意欲や学力の向上に向けた取組を推進します。
- 〇タブレット端末やデジタル教材などの学校ICT環境を活用するため、教員のICTを活用した指導力の向上に取り組むとともに、児童生徒の情報活用 能力の育成を図ります。
- 〇幼児教育と小学校教育を円滑に接続するため、スタートカリキュラムの活用を図るとともに、幼保小中連携協議会の実施などを通して、保育所・認定 こども園・幼稚園・小学校の連携を強化します。
- 〇児童生徒の個性や特性に応じた適切な特別支援教育を行うため、指導方法の向上を図るとともに関係機関との連携を強化し支援体制の充実を図ります。

令和6年度 部局経営方針

01-02 魅力ある教育体制や環境の充実

- 〇問題や悩みを抱える児童生徒の相談支援体制充実のため、学校や関係機関と情報を共有しながら、不登校やいじめ、虐待の把握に努めます。 また、多様な学びの場を提供するため、学校におけるスペシャルサポートルームの充実を図るとともに、民間の施設とも連携しながら子どもの居場所 づくりに取り組みます。
- 〇学校の働き方改革を推進し、児童生徒と向き合う時間や授業準備等に向けた時間を確保するため、校務支援システムの活用など事務の効率化と ともに、教育課程を工夫した取組や部活動改革に向けた検討を進めます。
- 〇少子化の進行による将来的な児童生徒数の減少を見据え、通学区域のあり方をはじめ、適切な学校配置に向けた基本方針の策定や再編計画の 策定に向けた取組を進めます。
- 〇児童生徒の健康づくり推進のため、健診や食育の実施、さらには健診後の健康指導に取り組みます。
- 〇安全安心な教育環境の充実を図るため、学校施設の整備や環境に配慮した学校設備の改修及び適正な維持補修に努めます。
- 〇国の法令や衛生基準に基づいた、適切な学校給食センターの施設管理及び設備や器具類等の計画的な更新や支出の平準化に努め、 安全安心な学校給食を提供します。
- ○食物アレルギーがある児童生徒については、家庭や学校と情報共有を図りながら、食物アレルギー対応に努めます。
- 〇公会計化による適正な学校給食費の徴収管理に努め、円滑かつ効率的な学校給食の運営に努めるとともに学校給食費の無償化に向けた 取組を始めます。
- ○学校給食の提供に当たり、学校や生産者と連携し、食育や地産地消を推進します。

01-03 地域が一体となった青少年の育成

- 〇地域全体で子どもを守り育てる事業に積極的に取り組むとともに、子どもたちが地域に誇りを持てるような取組を推進していきます。
- 〇中学生が自らの夢に向かって様々な課題にチャレンジする取組への支援や、市内の文化施設等を活用した体験学習の実施により、日向市の良さを 再発見するなど、未来のふるさとを担う人材の育成に取り組みます。

01-04 社会教育の推進

○地域社会で生きがいをもって暮らしていける環境づくりの一つとして、生涯学習・社会教育の充実・振興を図ります。

令和6年度 部局経営方針

01-05 図書館サービスの充実

- 〇市民が生涯学習の場として利用しやすい図書館を目指し、図書館機能の充実に努めるとともに、魅力ある環境づくりに努めます。
- ○ブックスタート運動やおはなし会など、関係機関や図書館ボランティアと連携しながら、読書活動の推進に努めます。
- ○学校図書館司書の配置など、学校図書館の機能を充実させ、読書の楽しさを伝える環境づくりに取り組みます。

01-06 地域文化の保存・継承・活用

- 〇地域に伝わる文化財を広く周知することで郷土愛を育むとともに、後世へと伝えていくため、その調査と保存及び活用に取り組みます。
- ○文化振興計画の改訂や文化交流センターの改修計画の見直しを行うとともに、各団体等の芸術文化活動を支援し、 市民が芸術や文化に親しむ環境の整備を図ります。
- 〇若山牧水をはじめとした地域の先人の顕彰や情報発信を積極的に行い、市民の郷土愛を深めるとともに、ふるさとに誇りを持つ人材の育成を 図ります。
- 〇令和7年度に迎える、牧水生誕140年を記念した事業の開催に向け準備を進めます。

01-07 スポーツ活動の推進と環境づくり

- ○スポーツ施設を安全・安心に利用できるよう適切な管理と計画的な改修・整備に努めます。
- 〇スポーツ推進委員等と連携しながら、市民がスポーツに親しむ環境を整え、生きがいづくりや健康増進を図ります。
- ○スポーツ協会やスポーツ少年団と連携しながら各団体等のスポーツ活動を支援するとともに、競技力向上に向けた研修の開催や、 アスリートの育成に取り組みます。

01-08 人権・平和の尊重

- 〇市学校人権・同和教育推進協議会や人権・同和研究大会の充実を図り、人権・同和問題に対する教職員等の正しい理解の促進に取り組みます。
- ○沖縄県に中学生を派遣する平和交流事業を実施し、平和学習の推進を図ります。

01-10 国際化への対応と国際交流の推進

○国際感覚豊かな児童生徒を育成するため、外国語指導助手(ALT)と触れ合いながら学ぶ機会の充実に努めます。

		重点プ											会和6年	度 成果排	E-lim				【教育安貝宏】
番号	戦略	D25-	具体的 な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	R6 予算事 業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	目標値	I I	実績値	達成状況	事業内容と成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方 向性
1					1 コミュニティ・スクール制度に 基づく学校運営店舗を設する し、学校の教育方舗を踏まえ、 地域などと連携した学校教育を 行います。	学校教育課	スクール (小・中学	まってきており、少しずつ協働の 意識が芽生えつつあります。 しかし、協議回数が少なく、情報	各学校に活動の年間計画と活動の方向性について報告を求め、その内容に応じて協議会に参加に必要に応じて指導助を行います。また、7月に調節を招聘し、先進的な取組を紹介すると共に、学校運営協議を会活性化する。	職員、学校運営協議会 委員、保護者、地域の 方など、研修会を通し て、具体的に説明を行	各学校の実践をまとめ るなど、1年間で活動と 振り返る手立てを開てた。 ボルを名字校間で大広い 活動の展示が、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で、1年で	各学校における学校運営協会の開催回 (1協議会ごとの平均)	4	0	4	А	を実施しました。1月 にそれぞれの学校運 営協議会での協議内 容を発表して、他の学 校の活動内容を中有 し、各学校の活動に	各学校で、確実に学校運営 協議金を開催できるようになり、回数も増やしながら、学 校からの説明に対して、協 議を行う場を設定している状 変が見られます。しかし、そ の取組に地域差があるた め、今後は、さらに取組を共 有しながら事業展開を図っ ていく必要があります。	学校運営協議会の推進をより
2	1 未	1 未来を支える「	1 生き		2 小中一貫教育の推進のため に、中学校区で作成したグラン ドデザインを基に、9年間を見据 えた系統的で一貫性のある教 育に取り組みます。	学校教育課	小中連携・ 一貫推進事 業	各中学校区で作成しているグランドデザインの具現化につい て、さらに連接を強化してから、 具体的な実践を推進する必要 があります。	グランドデザインに基づく、児童 生徒に身につけさせたい資質や 能力の定着について、小中が連 携した授業実践を行う指定校を 定め、モデルケースとして推進し ます。		研究公開を行い、小中 一体となった、授業等に ついての成果を発表す ることで市内・中学校 に周知・啓発を図りま す。	小中一貫教育を 合同研修会を 1回以上実施 した中学校区 数	7	中学校区	7	A	小中合同研修会を計画的に開催し、小中学校9年間で予能も 育てるという意識が教職員にも浸透してきています。小中学校で連携して、共通した、共通した取組を行うことができました。	りながら、よりよい学校経営 について、学校運営協議会 の委員や保護者等に理解を	各小中学校に小中一貫教育を 重点推進事項の一つとした取 報告実践してもらいながら、地 域と其にある学校づくりをさらに 推集するため、グランドデザイ ンの改善に取り組みます。
3	来へつなげる人づ	ひゅうがっ子 」育	る力を育む教育	童生徒の割合 【R1】89.0% ↓	3 幼児期の体験や学びを円滑 に小学校の学習につなぐ取組を 推進し、幼児教育との連携・充 実に努めます。	学校教育課	_	幼稚園、保育所、認定こども園、 小学校の職員が合同での研修 会を通して、接続の重要性を共 通理解しています。 「幼児期の終わりまでに育って 現しに一致上の姿と共通理解し、その実 現に向けた取組を計画的に実 施していく必要があります。	校と幼稚園等の職員が互いに 交流しながら、共に学ぶことが できる研修を計画的に実施しま	小学校と幼稚園等が互 いに授業等を参観・交 流し、具体的な「幼児期 までに育ってほしい姿」 を念頭に、「スタートカリ キュラム」等の取組を支 援します。	実現するために、「ス タートカリキュラム」や 「アプローチカリキュラム」の進捗管理及び必	幼保小連携協 議会の開催回 数	3	0	3	Α	小学校と幼稚園等 が、協働で計画を立 て相互に交流を図り ながら、合同研修会 及び情報共有を図る 機会を設定すること ができました。	各小学校区の幼保小で、ス タートカリキュラムやアプローチカリキュラムについて、さらによりよいものとするために、大りよいものとするために、大通理解を図りながら取組を進めて行く必要があります。	「幼児期の終わりまでに育って ほしい10の姿」に向けた取組に ついての理解と、小学校におけ るスタートカリキュラム必善につ いて、見直しの視点を整理しな がら、改善を図っていきます。
4	< ₁)	成 プロジェクト	の推進		4 学校ICT環境の整備を推進 し、ICTを効果的に活用した教育を行います。	学校教育課	学校ICT環境整備事業(小学校)(中学校)	ICT教育を推進するため、バソフンの更新や通信環境の整備を 年次的に行っていく必要があります。 ます。整備された機器を活用した「分かる授業実施」への支援 が必要です。	ため、ネットワークの整備や機	端末の契約更新に伴い、より効率的で効果 かな環境整備に取り組みます。また、ICT支援 身上情報交換を定期的 に行うなど、本市の目 指す授業のをり方につ いて、共有を図ります。	授業での活用方法につ いて情報発信や研修の 充実を図るにか、ICT 環境を適切に維持管理 していくために必要な環 境整備に取り組みま す。	教用査に表すついたものに 関係を表する。 関係を表する。 関係を表する。 をまる。 を。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 を。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 を。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 をまる。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を。 を	85	%	84.4	Α		学びの実現に向けて、ICTを 有効に活用しつつ、分かる 授業、力の付く授業を実践 できるよう、研修会を実施す	教員のICT活用能力の向上を 図るため、継続してICT支援員 を配置し、機器操作指導・授業 及し機材準備支援・投列CT研 修備を実施します。またので研 援身の効果的の活用方法や連 携の効果的の活用方法や連 携のであったができまった。 開発は光を分析するなどして研究 を進めます。
5					5 将来を見据えた通学区域の 検討を行います。	学校教育課	就学支援委 員会域選挙 の連議学会 の連絡費	模からみると多い状況にあり、	庁内で検討を進めるほか、通学 区域蓄議会を開催し、住民の意 見も踏まえた学校規模の適正 化に向けた協議を行います。	学校の適正配置の課題	通学区域審議会を開催 し、学校規模の適正化 に向けた協議を行いま す。	通学区域審議 会の開催	2	0	1	С	審議会を開催し、「日 向市立小中学校の適 正規模・適正配置に 関する基本方針	の核としての役割があり、丁	行政の視点だけではなく、住民 の視点も取り入れるため、通学 区域審議会を開催し、協議を行 います。

													A factor	÷ ±==	U- 100				【教育委員会】
番号	戦略	重点ブ ロジェ クト	具体的 な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管 課	R6 予算事 業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	令和6年月		実績値	達成状況	事業内容と成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方 向性
6			2 魅力ある教育体制	不登校児童生徒 が学校に復帰した 割合【R1】26.8% ↓【R6】29.1%	1 スクールソーシャルワーカー を配置し、児童生徒の悩み相談 など心のケアを行います。	学校教育課	スクールサポート事業	児童生徒が抱える悩みや問題 は、様々な社会的背景を反映して多様化する中、不登校及が加 を収積のの定金生後数の増加 には歯止めがかかりつつありま すが、高止まりしている状態に あります。	児童生徒の悩み相談に対し、ス クールソーシャルリアーカーを学 校に派遣(又は定期に訪問)し、 専門的で福祉的な対応を行うとともに、 専門的で福祉的な対見を活かし、生活環境の見直しや関係機 関との連携を充実させます。ま 、学校職員を対象に福祉的な 視点での児童生徒のサポートの 支援方法について研修を行いま す。	積極的に参加すること で、各学校の組織的な	スクールソーシャルワーカーを活用し、学校の要請に応じて事業の対応に事めます。また、関係機関との情報共有を図ることで、問題の発見、予防、解決の機能を高めます。	児童生徒の問題 行動・不登校等 生徒指導上の諸 課題に関する調	25	%	39.5	А	スクールソーシャル ワーカー2名体制で、 教育相談及び関係機 関と連携した支援を 乗見と立た。その結 東東を受け、即と他相 以上の児童生徒を支 以上の児童生徒を支 提することができまし た。		学校での対応が困難な事案について、様々な関係機関等との ネットワーグを生かし、適切な支 接を行います。特に、学校内に おいて、組織的な対応を行うた のに、支援外制の充実に向け て取り組みます。また、昨年度 のサルソーシャルワーカーを4人 体制(市2名、県2名)で対応して いきます。
7	1 未来へつ	1 未来を支える「ひゅう	2 魅力ある教育体制や環境	不登校児童生徒 が学校に復帰し 割合[R1]26.8% ↓【R6】29.1%	2 適応指導教室などで児童生 徒の不登校解消に向けた相談・ 指導を行います。	学校教育課	スクールサポート事業	児童生徒が抱える悩みや問題は、様々な社会的背景を反映して多様化する中、不意教及が不 を様化する中、不意教及が不 世には歯止めがかかりつつありま すが、高止まりしている状態に あります。	モデル事業で校内教育支援センターを学校に設置します。また、教育支援センターにしまわりラウンジリについて、広保護者に周知を図るとともに、長供でする児童生徒の学習保障という端点から、構使的にタブレッけたで、このでは、大を活用するなど、個別の特性や状況に応じた支援の在り方を検討していきます。	いて、各児童生徒の状況に応じた指導を行いながら、学校との情報 共有を月に1回行う談を 大保護者との面談を 積極的に行い、学校復	校と協力して、児童生 徒及び家庭に対して行	児題校等は ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	25	%	39.5	Α	教育児童とは、 教育児童生性から、年間 は、児様は上の教の育特性 を受け、個別にないます。 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のででは、 のでいる。 のででは、 のでいる。 のでは、 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでい	のニーズに対応しつつ、10CT を活用した学習の在り方を 検討するなど、社会とつなかる窓口を創出していく必要 があります。また、学校との 連携についても、より積極的 に行うなど、児童生徒の状 別の共有を図る工夫を更に 検討していく必要がありま	教育支援センターでの活動や 支援について、広く保護者に関 対定図るととも共に、長期化する 分児童生能の学習保障という 観点から、積極的にタブレット蛸性 や状況に応じた支援の在り方を 検討する必要があります。その ため、学校との連携や家庭と連 便で働きかけを行うよう努めて いきます。
8	なげる人づ	がっ子」育っ	充実	-	4 児童生徒が安全で安心して 教育を受けられるよう、学校施 設の改修・整備に努めます。	教育総務	小中学校各 校整備事業	職員室については概ねLED化を 図っていることから、その他の管 理諸室のLED化を行います。	小中学校の管理諸室の照明器 具改修及び空調更新工事、坪 谷小校長住宅解体・駐車場整 備工事に取り組みます。	夏期休業等を利用して、教育に影響のない ように改修工事を実施 します。	富高小学校プール改修 の設計を行います。	小中学校の管 理諸室の照明 をLED照明へ の実施	120	灯	134	Α	校の管理諸室のLED 化を行いました。富高 小学校プール改修の	LED化を実施する前に各学校の照明の型を把握する必要があります。また施工時期については学校と調整を図ります。	管理諸室が完了後に普通教室 へ移行します。
9	6	成 プロジェクト	3 地域が一体とな		1 世代間交流活動を支援し、地域における教育力を高め、子どもたちの豊かな心とたくましく生きる力を育みます。	生涯学習課	地域教育力 活性化推進 事業	地域における体験活動をとおして子どもの健全育成に寄与して にますが、実施団体の固定化合 に活動計画がパターン化する傾向 がありました。事業内容の周知 等が必要です。	/4.88 カカボチナンパナ しかし マ	託契約、 児童生徒健全育成事業		大人の参加割 合	50	%	38.05	В	今年度は7団体の申請がありました。うち新規の団体は1団体でした。可体でした。でした。でした。でした。でした。でいた。では、でいた。では、でいた。では、できないが、区としての申請に変更したことで事業に参加した人数が増加しました。	地域の 大巻キス (での取	今後ともPTAやこども会、区長会等を通じて事業の周知を図り、新規団体からの申請が挙がるように努めます。
10			なった青少年の育成		2 地域の協力により放課後子 ども教室を開設し、子どもたちが 安全に安心して過ごすことので きる居場所づくりに努めます。	生涯学習課	放課後子ど も教室推進 事業	平岩小、細島小、塩見小、美々津小、東郷学園において、6枚 津小、東郷学園において、6枚 室開設しておます。(東郷学園2 教室)サポーターの高齢化も進んでいるため、新たなサポーターの確保が課題です。	動などの取組を支援します。 また、サポーターの協力を得 て、セタやウリスマスなど季節 にあった行事を積極的に取り入 れていきます。また各教室のサ		活動支援、定例指導者 会の開催・サポーター 研修会の開催、アン	登録児童数	200	Α	177	В	として、5小学校6教室 を開設しました。子ど	サポーターの高齢化が進ん でおり、サポーターの確保 が、大きな課題でまた、 指導や見平別が困難な児童 についての対処方法が難し くなってきています。	サポーターの不足している教室 にあっては、地区の区長会に対しての呼びかけやサポーター開催 保に努めます。サポーター全体 保に努めます。サポーター全体 に起こりうる課題を共有するな どとして適切な教室運営を行って いきます。

-		重点プ	具体的	代表的な指標		所管	R6 予算事						令和6年	度 成果	指標				
£	戦略	ロジェ クト	具体的 な施策	(KPI)	施策の内容	課	業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	目標値	単位	実績値	達成状況	- 事業内容と成果	事業を進める上での課題	向性
1		1 未来を支える「	4		1 ブックスタート事業として、乳 幼児に結本を贈り、本に親しむ 機会を提供します。	図書館	児童サ ー ビスに要する 経費	合わせて、対象者に絵本を贈り、親子で本に親しむきっかけ作りや、読書習慣を身につける一助としているが、限られた機会で保護者の方へ活用方法や読み聞かせの必要性などを理	総本を贈る際に、ブックスタートについて説明を行い、絵本の大 切さを紹介する小冊子を渡して 該書の必要性を伝えるととも に、貸出カードの作成案内、お はなし会等のイベントの案内を 渡して、図書館利用の契機とし ます。	を配布 ブックスタートプラス 1 歳6か月児健診時に絵 本1冊配布 ブックスタートツープラス	健診時に絵本1冊、布製/がウィーパンフレットを配布 ブックスタートプラス 1歳の6月児健診時に絵本1冊配布 ブックスタートツープラス 3歳児健診時に絵本1冊配布 3歳児健診時に絵本1冊配名	て配布できた割合	100	96	99.5	Α	ブックスタート事業院 ついては、終本を贈る だけでなく、乳の終本を でしてなく、乳の終本を じらく楽しい「体験」と 後本」をせい動として は、おした、切らを 実施にました。おはな し会、終本の大く切らを があった。切らな のが利力、およなな を は利力するが一大の大なの書館 かするのよりのであると では利力をとなる書館 利用の契集をした。また、新たにいな ですを変をである。 利用のでする。 利用の要集を がした。 利用を呼びかけました。 た。 利用を呼びかけました。	ブックスタート事業やババマ マ教室での取組が子育て世 代の利用につながっていますが、一方、子育でサーク ルからは、「子ぞもに合った 絵本を選ぶのに時間がか かったりするので、分類方法 を工夫してほいりという表 見も出ています。来館したも えるよう。現代の施設でも故 キャラネーなを持ち、アパー	図書館を利用しづらい子育で世代の意見を踏まえ、児童書コーナーの充実やキッズスペースの周知などを図り、図書館としての子育て支援を広げていきます。
1:	未来へつなげ	ひゅうがっ子」育成 プロジェク	読書	小学生、中学生が 1か月間に読む録 書学生[和]136冊 1 [R6]150冊中 学生[R1]24冊 1 [R6]4.2冊		図書館・学校教育課	-	体貸出し、移動図書館車サービ	公立公民館図書室への配本、 学校や児童クラブ、放譲後子ど 大や児童の団体賞出し、移動 図書館車での巡回貸出しを行い ます。	も教室等への団体貸出 し 学校図書館との連携に よる調べ学習資料の貸 出し	公民館図書室への配本 学校、幼稚園・保育園、 児童クラブ、放課後子ど も教室等への団体貸出 し		195,000	m	203,000	Α	公立公民館図書室巡回や 学校、幼稚園・ 保育園、児童グラブ、 が放課後子ども数室等 への団体貸出出してある を行い。読書活動権 走を図りました。ま た、図書室の利力収マス おたのしみ会や新発 のの世が登上を があるたとり大会催しま した。	ト数は徐々に増えています が、地域を周回するような ルートづくりが課題です。	イベント等で移動図書館のPRを行いながら、移動図書館が必要な地域や人の握り起こしを行います。 日向市立図書館資料収集規程 日向市立図書館資料収集規程 現金館職員及び各公立公民館等の代表者から返書書金との連携を図ります。 総図書室との連携を図ります。
1:	る人づくり	F			3 学校図書館司書を配置し、児童生徒が誘着に親した環境づくりに取り組みます。	学校教育課	読書活動推 進事業	学校図書館司書は2~3校に1名 を配置しており、主に図書室環 境整備を行っています。図書室 の月平均の買出研数は県平均 に達していますが、実践者や地 域の方からは、歳書の完実を求 める声もあり、今後も環境の整 備や客先活動に取り組む必要 があります。	学校図書館司書の適切な配置 を図り、図書担当職員も含か 、環境整備や活用促進に関す る研修(年2回)を行い、子どもた ちの更なる話書意欲の向上に つなげていきます。	学校図書館司書が、各 学校の読書活動の取組 に対して、よりが果学的 支援ができる書館との 関や市立法や授館の方法や授館 あ学校図活用についての研修を実施し ます。	組の改善など充実を	小学生、中学 生が1か月間 に読む読書冊 数(平均)	小15 中 4	#	小17.7 中4.2	Α	中学校区を基本に、 全ての小中学校に、8 名の学校図書館司書 を計画的に配通いたくなる学校図書館になる学校図書館になる。 は、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	学校図書館の書か、一人で 複数校(2~3校)を担当して いる状況にあり、週2回だけ	学校図書館司書の体制及び研 修の充実を図ると共に、市立図 書館と連携し、児童生徒の誘書 活動の推進を図ります。
14	l	3 ふるさとを愛	1 豊かな人権	-	1 「日向市全ての人の人権が 尊重されるまちづくり条例」に基 づいた人権教育や啓発活動を 推進します。	学校教育課	同和教育の 充実に要す る経費	「日向市全ての人の人権が尊重 されるまちづくり条例」に従い 関係部署と連携し、同和教育を はじめとする人権教育の充実に 取り組む必要があります。	教育集会所での活動をはじめ、 日向市人権・同和教育研究大 会、学校における実践報告会な どに取り組みます。	教育集会所での活動 や、各種研究大会、講 演会等への参加を通し て、人権問題に関する 学びを深めます。	教育集会所での活動 や、各種研究大会、講 演会等で人権問題に関 する学びを深めます。	市・人権同和 教育研究大会 への参加者数	600	Д	657	Α	市・人権同和教育研究大会を開催し、教職員等が人権問題について理解を深める機会を確保しました。	日向市人権・同和教育研究 大会は、教職員を中心とし た研修ですが、民間からの 参加も可能としており、市民 の人権意識の離成を図る例 制も担っています。耐修のあ り方など、さらに見直しを行 い、効果的な学習につなげ ていべ必要があります。	関係各課と連携を図り、実行委員会や分野別会を計画的に開催し、人権意識の醸成につながる大会開催を目指します。
18	i	1ジェクト	感覚を持った人づくり	-	1「日向市全ての人の人権が 専重されるまちづくり条例」に基 づいた人権教育や啓発活動を 推進します。	生涯学習課	-	人権調座を4回開催する予定です。内容についてもタイムリーな 話題などを取り上げるようにして います。これまで人権調座に参加経験の無い方々が参加しや すい環境を作ることが必要です。	人権講座の開催します(4回)。 また、市広報紙、IPを活用する とともに、これまでの参加企業、 らに自主党級の代表者へ業、 内するなどして、参加者を募りま す。	講師選定について、関 係部署や社会教育指導 員との協議	人権講座の開催(4回)	人権講座の受 は著者がいる変更が にはなりです。 足度が、大きなのでは、 を加者の割 合)	90	%	91.7	Α	予定どおり4回開催することが出来ました。 「ジェンダー平等教育」、「人権・同和教育の必要性」、「陳吉克」、「人権・同和教育の必要性」、「陳吉について考える」、「進路保障(就職差別)」など参加者が興味を持つようなテーマとしました。参加者の世代人数は201人でした。	内容・テーマについては、 ターゲットや時代の変化に 合わせた内容にすることが	講座の内容については、地域コミュニティ課、日向市学校人権・同和教育推進協議会の先生 方、教会教育推進協議会委員と連携を取り合いながら選定し、それに対応できる講師を選考します。

135	1 0 1	2 11/10		コに坐って土	点 戦略と重点プログエン	71.													【教育委員会】
番号	戦略	重点プロジェクト	具体的 な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	R6 予算事 業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	令和6年		指標実績値	達成状況	- 事業内容と成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方 向性
16		71-	む教育の推進	-	1 総合的な学習の時間を活用 し、ふるさと教育の充実を図りま す。	学校教育課	牧水教育事業	児童生徒が郷土の歌人「若山 牧水」の短歌等に親しむ機会を さらに広げていく必要がありま す。	牧水かるた大会を、若山牧水の 生誕日(前日)に開催するととも に、牧水類影事業(青の園野 牧水短歌大会・牧水短歌甲子園 大会)的情報提供を行うなど、 若山牧水に親しむ機会への参 加を促します。		牧水かるた大会をはじ め、牧水類彩事業への 参加状況等について振 り返りを行い、次年度大 会の開催方法等を協議 します。	牧水かるた大会への参加校数	20	校	20	连风状况 A	若山牧水生誕の前日 (8/23)に牧水かるた 大会を開催し、全小 中学校から266人が 参加しました。また今 年度は、新たに初心 者の部を設け、裾野 を広げる取組を行い ました。	できる教育施策の一つであ り、継続した取組を行い、 「ふるさと」に対する理解と	牧水かるた大会の各学校の取組状況の張り返りを生かし、国語科制を土連携し、ふるさと窓 臓の臓成こながるような大会の開催を目指すとともに、多く の児童生徒の参加を促します。
17		3		-	2 囲碁教室の開催など囲碁文 化の総承に努めます。	学校教育課	「囲碁のまち 日向市」モデ ル事業	児童生徒数の減少や余暇活動 の多様化、また授業時数の確保 等により、学校と連携した取組 が困難な状況にあります。	日本棋院日向支部と連携し「囲 碁の次世代育成活動事業」によ り初心者講座を開催します。	ほか、他機関との連携	初心者講座を開催する ほか、他機関との連携 に向けた取組を進めま す。		50	0	34	Α	講師を勤め、小学校 や公民館で囲碁教室		日本棋院日向支部と連携し、初 心者講座などに取り組みます。
18	1 未来へつなげる	ふるさとを愛する心豊かな -	3 郷土愛		3 若山牧水の短歌に親しみ、 牧水への理解を深めます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	牧水・短歌甲子園や青の園若 山牧水坂線大会などを通じて、 全園に牧水を発信する事業に 取り組んでいますが、牧水のふ さと日向市をより多くの方に 知っていただくために、さらなる 観彩活動や話い世代へのア ビールが必要です。	· 牧水記念文学館企画展· 牧水· 花歌中子園· 牧水祭· 青の 國若山牧水祭· 青面 國若山牧水祭· 青山牧 水貴記念講演会· 若山牧水生 誕 140年記念事業 準備	·牧水記念文学館企画 展·牧水、短歌甲子園(8 月)·牧水祭(9月)·若山 牧水生誕10年記念事 業実行委員会開催	展・青の國若山牧水短 歌大会表彰式(12月)・	牧水顕彰事業 参加者数超 文学館者 数(年間)	4,500	٨	4,260	Α	展、牧水・短歌甲子園、牧水・祭、青の園、女水・祭、青の園 芸山牧水水生誕146年 記念事業に一般では、7年度に実施する140年 2年	サル・伝動田フ囲 サルタ	既存のイベントに加え、生誕 140年記念事業を行い、情報を 広く発信し、より多くの方に若山 牧水や短歌に興味を持つてもら う取組を進めます。
19	人づくり	人づくりプロジェクト	を育む教育の推進	-	4 中学生が思い描いている夢 に向かいチャレンジする取組を 支援します。	生涯学習課	ふるさと再 発見!子ど もの実現夢 サポート事 業	を行いました。令和6年度は45 名の応募があり、1次選考で選 考された8名により2次選考を行 い、取組者3名を決定しました。 今後は、107を活用した応募の 仕方などを研究していく必要が あります。 ふるさと再発見事業について	子どもの夢実現サポート事業では、生徒に関心を持ってもらい、申込有数の増加につながるよう 申込有数のできを図り、生徒自身の夢に向かってチャレンジする飲料を支援にます。 からむと再発見事までは、優れ、 大芸術や文化に触れることで感 性を輝く契機とし、日向市の良さ ラ取組を支援にあるさとに誇りを持 つ取組を推進します。	ト事業 募集案内、選考委員会 の開催、補助対象者と の打ち合わせ、実施に 向けた支援 ふるさと再発見事業	卜事業	申込者数	17	Α	45	А	を模様的に取組んでいただいた中学校もあり、目標値を大きく上回りました。	子どもの夢実現サポート事業については、応募者が増加したことで選挙委員の負担も増えました。 ふるさと再発見の目のでは、催行日が重複することもあり、見ずする施設の負担が大きくなりました。	子どもの夢実現サポート事業に おいては、応募申請書を見直 し、選考委員の負担軽減を図り ます。 ふるさと再発見事業において は、学校や見学する施設との連 携を図っていきます。
20				率【R1】61.4% ↓	5 学校給食への地元食材の活用や地産地消交流学校給食会の開催など、学校給食における地産地消を推進します。	学校給食センター	給食調理に 要する経食 学学業 営事業	保護者が負担する総食要で大 量で規格の揃った安価な食材を 購入する必要があため、市外 底、外国座の食材を調達してい る状況があります。	産地消交流給食会」開催に伴 い、生産者を招いて交流を深	地元食材の購入に努め ます。	地元食材の購入に努めるとともに、10月の県学 牧給食会の「ひむか地開 校給食会の「ひむか地開 催に交流発産者・招いて等なが、 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 がまない。 はい、 ない。 はい、 ない。 ない。 はい、 ない。 ない。 はい、 ない。 ない。 はい、 ない。 ない。 はい、 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 はい、 ない。 ない。 ない。 はい、 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。	学校給食に占 める地元食材 の割合	64	%	51.1	В		単価の高い日向市産の食 材使用が減少しました。	日向市産の食材使用とともに宮 崎県屋の食材についても、単価 動向を見ながら、引き続き、で きるだけ多くの日向市産食材の 活用に努めます。

		点プ											令和6年	市 成里:	岩 煙				【教育委員会】
番号	略口	ジェクト	具体的 な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	R6 予算事 業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	目標値		実績値	達成状況	事業内容と成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方 向性
21		3 ふるさと	4 キャリア教育の	割合[R1]82.4%	1 産学官や地域の大人が連携し、「日向の大人はみな子どもし、「日向の大人はみな子どもやりの先生」をスローガンにキャリア教育支援事業「よのなか教童」を市民運動として推進します。	学校教育課	キャリア教育推進事業	る「よのなか先生」の活用促進と 「14歳のよのなか挑戦」の全市 展開を図っています。特に、協 力していただく事業所の開拓とし	キャリア教育の計画や総合的な 学習の時間における取組を見 直します。 また、先生方のファシリテーショ	「14歳のよのなか挑戦」 について全市展開が可 能となるよう新規事業 所の開拓に取り組みま す。	情報発信ツールを整備 し、キャリア教育の取組 について、市民に広く伝 えることのできる体制づ くりを行います。	小学5年生、中 学2年生を対 象とするキャリ ア教育アン ケートにおい	87	%	85.2	Α	「よのなか教室(職業 講話)」の開催をはじ め、「よのなか挑戦 (社会体験学習)」のま 実施や「よのなか花ま る先生」の派遣、キャ リア教育通信等によ お情報発信に取り組 みました。	に取り組み、より充実を図る ことができました。今後は、 各学校がキャリア教育支援	
22	未来へつなげる	を愛する心豊かな人	門教育機関への支 高校・高等専	-	1 小学校・中学校・高校の連携 強化や市内の県立高校の魅力 向上への支援など、市内高校へ の進学率の向上に努めます。	学校教育課	-	市外へ進学する生徒が依然増 加傾向にあり、市内の高校に進 学する生徒数は厳しい状況にあ ります。	市内の高校が主催する進学説 明会の実施とオープンスケール の積極的な参加の呼びかけ を行い、市内高校の魅力を伝え ていきます。	とともに、生徒、保護者	進路達成に向けた確か な学力の定着に努め、 生徒が目的意識を持っ て受験ができるような支援に取り組みます。	キャリア教育 アンケートにお	87	%	85.2	Α	各中学校において、 高校説明会を実施 し、市内の高校の魅 力を発信する機会を 設定しました。	機会を通じて、市内高校の	市内の高校が各中学校等で魅力を発信するための具体的な 機会について検討する必要が
	人づくり	ハづくりプロジェクト	関への支援の充実 5 高校・高等専門教育機	-	4 放送大学宮崎学習センター の情報発信や入学料に対する 市民への支援など利用促進に 努めます。	生涯学習課	放送大学支援事業	放送大学宮崎学習センターの 学生数が減少傾向にあるため、 入学者数を増やす取組が必要 です。	放送大学宮崎学習センター振 興協議会が行う宮崎学習センターの支援事業に対して助成します。学習センターが主催する 公開講座などの開催が放送大学の取組に関心を持ってもらう ことにつながるため、様々な取 超を通じて振興協議会と連携を 図り、入学者の増加に努めてい きます。雪センターに入学した市 民に対し、入学料の2分の1を 補助します。	放送大学宮崎学習セン ター振興協議会への補 助金交付、入学奨励補 助金の助成	市広報紙への入学者募集情報の掲載、入学要 動権助金の助成	入学奨励金申請者数	10	A	12	Α	崎学習センター振興 協議会と連携し、また。 生募集に取組が放送 た。等に関心を持っま 大きに関心を持った。 大きの関催や体験入 会の開催や体験入	放送大学宮崎学習センター 全体の学生製は、今和5年 度に上へ達かしています。 本市に住所がある学生教 は、令和5年度127人情ないの状態 です。学習センターの所在 地として、セッチ生数を増や す取組が求められます。	放送大学宮崎学習センター振 興協議会の取組である授業料 の免験と入学料の半額免除を 組み合わせた稼験入学生募集 について、市としてもその支援 を行い、学生数の増加につなげ でしきます。 今後4学習センター主催の市 民を対象とした公開譲座の支 揮後行うびど、市民に関心を高 めるための取組を進めていきま す。
24	活力を生み出すに	カづくりプロジェクト3 新たな人が集まる魅	4 牧水の生誕地・東郷を生か	-	1 青の国若山牧水短歌大会や 短歌甲子園など、牧水顕彰事業 の拡充に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	牧水顕彰事業	牧水・短歌甲子園や青の國若 山牧水短歌大会などを通じて、 全国「牧水を発信する事業に 取り組んでいますが、牧水のふ るさと日向市をより多くの方に 知っていただくために、さらなる 観彩活動や著い世代へのア ビールが必要です。	·牧水記念文学館企画展·牧 水·短歌甲子圖·牧水祭·肯の 國西山牧水祭·青山牧 水資記念講演会·若山牧水生 誕140年記念事業準備	展·牧水·短歌甲子園(8 月)·牧水祭(9月)·若山	·牧水記念文学館企画 展·青の國若山牧水短 歌大会表彰式(12月)· 若山牧水连 指山牧水连 指山牧水连 (14年記 念事業実行委員会開催	牧水顕彰事業 参加者数及び 文学館入館者 数(年間)	4,500	٨	4,260	Α	展、牧水・短歌甲子園、牧水祭、青の國若山牧水短歌大会、若山牧水生誕140年記念事業実行委員を開催しました。 7年度に実施する140	文学館入館者数は過去最低となった令和2年度の800人から年々増加していますが、コロナ場以前の水準には回復していませんが、カリチャラの40分割である。 は参加者等を増やす余地があり、多くの方に興味・関心を持ってもらうための工夫が必要です。	既存のイベントに加え、生誕 140年記念事業を行い、情報を 広く発信し、より多くの方が若山 牧水や短歌に興味を持つような 取組を進めます。
	2	3 新たな人	郷を生かした魅力づく り	-	2 若山牧水記念文学館の来館 者増加や牧水公園の利用促進 に取り組みます。	スポーツ・文化振	芝 子 語 官 理 運 営 費	数水配念文学館の入館者数を 増やすために、常設展の展示内 容の見直し、魅力ある企画展の 開催をはとめ、東部立連携を 公社や各種団体等と連携を リ、人を呼び込む施策に取り組 む必要があります。	牧水記念文学館企画展	牧水記念文学館企画展	牧水記念文学館企画展	牧水記念文学 館入館者数 (年間)	3,500	Α	3,269	Α	鳥風月、榎倉香邨遺作展、若山牧水賞展、文学ノート拝見の 各企画展のほか、 ギャラリー等でも母校	令和7年度の牧水生誕140 年を前に、過去の企画展を 再構成した内容であったこと もあり、市広戦紙や文学館 のホームページやSNSで広 報を行いましたが、目標を上 回るような集客につながって いません。	
26	刀を生み出すにぎわいづ	が集まる魅力づくりプ	5 重要伝統的建造物群保存	-	2 伝統的建造物の保存修理と 町並みの良好な景観形成に取 り組みます。	教育総務課	重要伝統的 建造物群保 存地区 整補助・単 独)	加と未相続により老朽化する特	修理・修景事業に対する補助事業を実施し、伝統的な建造物の 保存に取り組みます。	国補助事業 修理1件 市単独事業 修理修景 4件	国補助事業 修理1件 市単独事業 修理修景 4件	修理修景等の 補助件数	5	件	10	Α	実施し、伝統的建造 物の保護及び歴史的	△後 台油に売ま会が∰tm	倒壊が懸念される空き家の保存・修理と活用方法について所有者 相続人) らと協議を進めていきます。
	4	ロジェクト	つくり 英々津」を生	=	3 日向市歴史民俗資料館など の公共施設の利用促進に取り 組みます。	教育総務課	歷史民俗資 料館管理運 営費	観光客がインパウンドを含めて 団体から個人へ移行しており、 駐車場敷地の確保と案内の多 言語化が課題です。	指定管理者と連携して、日向市 歴史民俗資料館を核とした伝建 地区の活性化に取り組みます。	意し施設の利用促進に	伝建地区で開催される おひなさん祭りを広くPR し、施設の利用促進に 取り組みます。	日向市歴史民 俗資料館入館 者数(おひなさ ん祭り期間 中)	200	٨	569	Α	た。インバウンド対応とし	「おひなさん祭り」に若い地域住民らが協力しており、地域活性化に寄与しています。 年々高齢化が進む指定管理者の後継者育成が課題となっています。	なく、「体験」できるコンテンツづくりをすすめていくことで、若い

- 117	1	_ ,,,,			「			1				1							【教育委員会】
番号	戦略	重点プロジェクト	具体的 な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	R6 予算事 業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	令和6年 目標値	1	指標 実績値	達成状況	事業内容と成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方 向性
28	3 笑顔で暮らせる	2 笑顔で暮らせる	1 健康づくりの推進	-	5 児童生徒の健康づくりや食育に取り組みます。	学校給食センター	-	食と健康の関係性について、実 感を伴った学びができるように 働きかけるとともに、家庭での 理解と協力についても呼びかけ ていく必要があります。	の日」を実施します。また、宋袞	栄養教諭による食育授 薬を全小・中学校で計 画的に実施します。	「弁当の日」の取組の効果について、各学校に 周知した上で、実施状 況調査を行います。	栄養教諭によ る食育の出前 授業回数	140	0	173	А	識を身に付けさせ、栄	食生活の乱れや肥満・寝身 傾向が見られる子どもたち がまだ多くみられます。	望ましい食習慣を身に付けさせ るために、「弁当の日」の実施 や、栄養教諭による食育の出 前授業をとおっていきます。 も推進を図っていきます。
29	地域共生の社会づくり		生きがいづくりや健康づくりの推進	-	1 スポーツイベントを開催し、スポーツに親しむ機会の提供や運動習慣の定着に努めます。		こマラソン大	平成6年度にスタートした日向 ひよっとマラソン大会も、昨年 使で30回目の節目を迎えました。 老村化した大型看板等の大会 備品の定を考集中で3位十分後更 なる参加料の値上げや財政される を記し、大会のあり万等さめ実 行委員会ので慎重に検討していく必要があります。	「日向ひょっとこマラソン大会」を 3月の第2日曜日に約300人のボ ランティアスタッフの協力を得て 大会を実施します。 ・実行委員会 9回	実行委員会4回	実行委員会4回 大会の実施	大会参加者数	1,200	,	1,430	Α	今回が最後の大会ということで、県内外から1,400名を超えるランナーのエントリーがありました。また、ゲストスターターに、元日さんを招聘し、最後の大会を盛り上げてもらいました。	R6年度事業終了	R6年度事業終了
30	3 笑顔で	2 笑顔で暮らせ	4 スポーツを生か	者数(年間)【R1】	2 総合型スポーツクラブへの支援など生涯スポーツの推進に取り組みます。		ツ推進事業	への極れ感が導れ、コロテ備からの脱却を感じます。 教室への参加者数も伸びており、アンケート結果を見ても運動 する機会を求めている市民が多い傾向にあるようです。	確保、人材育成などの支援を行いながら、自立した運営を目指	スポーツ教室 5事業26 教研修会の企画、検討 総合型地域スポーツク ラブの活動場所確保、 支援	スポーツ教室 6事業23 教室 50 を加 総合の記憶場所確保、 支援	市が主催する スポーツ教室 等参加者数 (延数)	920	Α.	1,036		今年度は、スポーツ等等では、スポーツ等等では、スポーツ等等では、国別な活用を表して別な活気を表すに参加できるかできる。 大きた、休で、健康を適高のでもらうかけつべりであった。 大きない しました。 大きない しました。 大きない しょした。 大きない はい	今年度も、スポーツ教室等 を開催する中で、安全対策 や開催方法等でついて、報告 信書・アンケート結果を基 に毎月開催うを開発の定例会ので協議・改善を行いながら事 業を実施しまた。スポーツ 推進員のスキルアップも支 提しながら、人材を確保して いく必要があります。	幅広い年齢層の方々が気軽に 連動やスポーツに親しめるよう ニュースポーツの音及活動や 高次晩起につかがるような内 客、情報発信に取り組みます。 また、参加音楽をして事業 施できるよう教室等開催時の事 な対応など動切な対応に努め ていきます。
31	暮らせる地域共生	る スポーツ・健力	した生きがいづく	スポーツ施設の利 用者数(年間) 【R1]233,817人 ↓【R6]234,000人	3 スポーツ施設の適切な維持 管理や利用促進を図ります。	教育総務課	お倉ヶ浜総 合公園管理 運営費ほか	施設の老朽化に伴う利用サービスの低下が起きないように迅速な対応を心掛けておく必要があります。	大規模な改修については、公園 管理者と連携を図り、施設整備 を実施してまいります。	サンドーム照明LED化 工事発注	運動広場改修工事の発注	スポーツ施設 の年間利用者 数	190,000	٨	199,991	Α	指定管理者と毎月の 定例会を実施し、情 報の共有を図ったこと で問題点への迅をさ 対応を行うことができ ました。	施設の老朽化に伴う利用 サービスの低下が起きない ように迅速な対応を図るた めに指定管理者と情報を共 有しておく必要があります。	施設の更新等の大規模な改修 については、他部局とも連携を 図りながら施設整備を実施して しく必要があります。
32	の社会づくり	康推進プロジェクト	りや健康づくりの推進	-	5 小学校、中学校、高校が連携し、競技団体を中心にアス リートの育成に取り組みます。	スポーツ・文化振興課	競技スポーツ推進事業	コロナ福により大幅に減少して いたスポーツ協会やスポーツ少 年間の団体・部員教は回復傾 同にありますが、少子高齢化の 影響で、今後は減少に向かうこ とが予想されます。 部員の確保や活動維持につな がらよう、計事者のニーズを把 振しながら新しい知識や指導法 が管備できる機会を提供してい くことが必要です。	団、市内小中学校、高校と連携 して指導者を対象にした講演会 及び実技講習会を通じて競技力	講演会講師選定、依領 実技講習会種目の選定	定会及7/11/20 全中性	にした講演会	2	0	2	Α	包括連携協定を締結している大塚製薬とはている大塚製薬と連携している大塚製薬と連携して熱中症アンライン形式 原開催しまたに宮崎国スペペント「内川野一さんれ、降スポ大の全準備室と大きになる大きな事情をしました。	しつつ競技力を向上するためには、幅広い見識や知識を持った指導者が必要です。 令和9年度に開催される国民スポーツ大会に向け、気運が高まる中、関係団体や理解を提供しませい。	国民スポーツ大会等の全国規模の大会出場や部活動の地域 移行を見据え、指導帝の育成 や人材の把握も重要となりま す。 スポーツ協会やスポーツ少年 団と協議し、競技団体や指導 ながら実技講習会等の講師や 内容等を決定していきます。

		重点プ											令和6年	度 成隼	1指煙				【教育安貝云】
番号	戦略	クト	具体的 な施策	代表的な指標 (KPI)	施策の内容	所管課	R6 予算事 業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	指標の説明	目標値	1	実績値	達成状況	事業内容と成果	事業を進める上での課題	課題を踏まえた今後の方針・方 向性
33	3 笑顔で暮らせる地域共	3 共に支え合う地域づく	3 地区公民館の	-	1 地域の核となる地区公民館 の機能強化を図ります。	生涯学習課		公立公民館では、暮らしに役立 つ講座を開催し、仲間づくりの 接としても利用されていますが、 さらに幅広い年齢層や男性が参 加しやすい環座の充実に取り組	7公民館で8つの子ども土曜教 室を募集します。	募集案内、各講座の実 参加者アンケートの実 施	各講座の実施 参加者アンケートの実 施 文兄館発表会の開催	延べ参加者数	560	,	461	В	福島地区においては、地域と学校が協働で生涯 学習を推進していく学社協同推進会議を定期的に開催し、その活動のの同	地域と学校の協働活動については、学校と地域とを繋ぐ キーバーソンを育成し、広域	子ども土曜教室については、講座内容を工夫するとともに、校 医内容を工夫するとともに、校 を限定したい教室の開設を 検討する必要があります。 地域と学校の協働活動につい ては、学社協働推進会議の中 で、広域できる取組はないか を研究してきます。
34	共生の社会づくり	くりプロジェクト	機能強化				高齡者学習 支援事業	む必要があります。	7公民館で高齢者講座を開設 し、趣味・教養・生活・健康など 様々な学習内容を組み込みま す。			延べ参加者数	360	,	418	А	12. 2 W = 10.1% 1.0	参加者の平均年齢が70歳を 超え、受講者の高齢化・固 定化も進み、内容の検討が 必要となっています。	公民館主催高齢者学習の福祉 系の高齢者サロンや自治公民 館の高齢者クラブなどと差別化 を図り、高齢者が現代生活に適 応できるような内容(スマホや ネットなど)を検討する必要があ ります。
35		•					公民館主催講座事業		抽選になった人気講座は再度 開設します。また、自主学習グ ループが減少していることから、 廃止した分野を補完する講座の 開設や公民館発表会の検討会 を行います。			延べ参加者数	2,700	,	2,739	А	ものがありました。参 加者は趣味・教養・生	高齢者中心の講座が多くなってきており、働く世代の 学びたい内容や夜間、休日 などの講座の開講が必要と 思われます。	若い世代に向けた夜間や託児 付の講座を開設し、年間を通じ ての内容や集中的な講座の開 設など検討する必要がありま す。
36	3 笑顔で暮らせる地域共生の社会づく	3 共に支え合う地域づくりプロジェク	3 地区公民館の機能強化	-	2 老朽化している地区公民館 の整備や新たな地区公民館の 整備に向けた検討を行います。	生涯学習課	中施営屋設養公管費公管費公管費民理東施営民理財施営公管、民理、民理、民理、民理、民理、民理、民理、民選、監選総設費、民理、民工、監選総設費、民工、監查、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、企業、	施設の状況を踏まえながら計画 的に修繕に取り組んでいます が、沈該中2施設は建築年数 がも全差視えるものは、実発的に修 続が必要な場合もあるため計画 を見直しながら修繕を進めてい く必要があります。	第2次日向市1月前 政 以 半入網 及び日向市公共施設等総合管 理計画に沿って、老朽化してい る公立公民館の整備や新たな	設計画に沿って、計画 的に修繕を行っていくほ か、老朽化の度合いや 利用・コストの状況を 合的に勘案しながら年 次的な整備や改修など	設については、個別施 設計画に沿って、計画 的に修繕を行っていくほ か、老朽化の度合いや 利用・コストの状況を総	修繕箇所	10	箇所	19	Α	繕についても対応し	初計画していた修繕が後回	修繕の必要な箇所の台帳を作成し、優先順位を決めて適正な 管理を行います。
37	強いまちづくり	まちづくりプロジェクト 3 自然が残る美しい	づくり然に親しむ環	-	1 子どもが自然環境に触れ、学 ぶ機会を作ります。	学校教育課	_	総合的な学習の時間において、 児童生徒が探究的な活動を通 して、自然環境への知識や理難と 定深めるともに、身近な問題と して環境問題を捉える手立てを 講じる必要があります。	理酔を体の、小フンナイ/ 位割は		SDGsの視点とも関連させながら、身近な自然を保全することの大切について学び、自分にできることについて考えさせ、今後の実践意欲を喚起させます。	身近な環境保 全をテーマとし た学習に取り 組んだ学校数	20	校	20	А	全ての学校で総合的の 在学習の時間や特別 活動等にかて、自 然類境の調査を行っ たり、環境保全に取り 頭な環境との関わり 面とでしている。 が が が が が が が が が が が が が	的な取り組みにせず、継続 的な取り組みとできるような	身近な自然を保全しようとする 実践意欲の高め方について、 SDGの視点と問題させなが ら研究を進めます。

	.,			· · · · ·	17.	7 12 0	<u> </u>					【孙月女只厶】
看	番 基本 号 標名	本目 ∶	施策名 称	具体的 な施策 名称	所管課	R6予算 事業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	取組結果	今後の方向性
1			1 生きる力を育む教	③ 特別支援教育の充	校教育課	ある児童 生徒の 教育の	児童生徒の特性等に応じた教育 支援へのニーズは増加傾向に あります。特別支援教育支援員 の適性な配置と通級指導教室 の効果的な運用が必要です。	とができるように、特別支援教育 担当専任指導主事による就学 相談に関する支援や小・中学校 への特別支援教育支援員の適	や学校生活上の支援を適切に 行えるように、研修会を実施しま す。 また、特別支援教育担当専任指 導主事による就学支援や特別	を送られるように、特別支援教 育担当専任指導主事による就	担当専任指導主事による就学に関する相談や支援、小・中学校への特別支援教育支援員の適正な配置を行いました。	拡充
2	1 教育文化	育 文	2 魅力ある教育体制や環	① 児童生徒の相談支援体制の	教	スクール サポート 事業	不量やパ単生状ののあります。 歯止めがかかりつあります。 が、一人一人の居場所を確保しながら、社会的な自立につながるような、個に応じた支援を継続して行く必要があります。また、 一部ではあるものの、規範意識の欠如と思われるトラブルが懸念される事案が発生しており、	生徒指導担当専任指導主事の 助言に基づく生徒指導体制整備に加え、事案が発生した際の組 織的な対応について、担当課職 員が積極的に関わることで、各 学校の生徒指導事案に係る対 応能力の向上に努めます。 また、県のモデル事業を活用し、 校内教育支援センターを設置 し、不登校生徒の居場所づくりに 向けた検証などを行います。	また、校内教育支援センターを	問題が起きにくい雰囲気の醸成	生徒指導に係る様々な問題について、助言や対応を積極的に行い、課題解決に向けた支援を行うことができました。また、財光寺中の校内教育支援センターの活用により、教室に入ることに抵抗がある生徒の居場所づくりに、取り組むことができました。	拡充
3	3		環境の充実	健康づくりの推	女	就学時 健康診 断に要す る経費	を允確し、保健工必要な助言や健康指導、適正な就学指導を行る必要がおります。	健康診断において各検査や診	就学時健康診断の実施にあたり、小学校と学校医・学校歯科 医と日程調整を行い、保護者へ の案内通知や物品の準備等、 実施体制を整えます。	するとともに、学校生活に支障となる疾患等に対して、関係機関	学校や学校医等と連携を図り、就学時健康診断を実施し、就学に向けて必要な保健指導・就学指導を行いました。	維持

様式1-3 その他に取り組む重点事業 【教育委員会】

	<u>水上() </u>		اظار در	<u> </u>		<u> </u>					【叙月安貝云】
7	番 基本目 標名称	施策名	具体的 な施策 名称	所管課	R6予算 事業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	取組結果	今後の方向性
4	1		②児童生徒	学校教育課		児童生徒の健康診断を通して、 疾患を早期発見するとともに、早 期治療の指導を行い、重症化を 防ぐ必要があります。	児童生徒の各種健診を実施し、 日常生活の指導や受診勧奨な ど、適切な事後指導を行い、健 康の保持増進及び重症化防止 に努めます。	学校や学校医等及び関係機関 と連携し、学校での健診実施体 制を整え、各種健診を実施しま す。	健康診断の結果に基づき、日常 生活の指導や受診勧奨など、適 切な事後指導を行い、重症化防 止を図ります。	学校や学校医等と連携を図り、児童 生徒の健康診断を実施し、結果に応 じて保健指導や受診勧奨を行いまし た。	維持
į	5	2	の健康づくりの推進	学校教育課		児童生徒が、安全・安心な学校 生活を送るために、学校環境衛 生基準に基づいた環境整備に 取り組む必要があります。	児童生徒が安全・安心な学校生活を送るために、学校の環境衛生点検を行い、良好な環境の保持及び安全管理に取り組みます。	境衛生検査を実施し、学校に対して学校薬剤師による、学校に	環境衛生検査を実施し、学校薬 剤師により、必要に応じて助言 を受けながら、学校環境衛生基 準に基づいた環境整備に取り組 みます。	いて点検・判定を行い、学校は、必要 な助言や指導に基づく安全の維持・	維持
(1	魅力ある教		学校給食セン	る経費	児童生徒の心身の健全な発達、 正しい食習慣を身につけるため に安定的に学校給食を提供する ことが必要です。	市内小・中学校の児童生徒に安全・安心な学校給食を提供し、 円滑で安定した学校給食の運営 に努めます。	委託事業者への的確な指示を 行い、事業内容を確認します。	委託事業者への的確な指示を 行い、事業内容を確認します。	委託業者に対しての定期的な衛生研修を実施し、安全・安心な学校給食の提供を行いました。	今後も、委託事業者への 的確な指示を行い、安 全・安心な学校給食を提 供し、円滑で安定した学 校給食の運営に努めま す。
-	教育文化	育体制や環境の充実	③ 学校給食の充実	学校給食センター	要する経 費(学校	学校給食を提供し続けなければ	策、改善方法の提案を受けるな		衛生管理に関する備品・消耗品等の計画的購入、法定検査等を 実施します。	害虫駆除の調査及び防除について 年間6回の分析調査、1か月に1回の 点検調査を行いました。 調理に関する備品・消耗品の購入を 定期的に行い、衛生環境を整備しま した。 食品検査、検便検査、ノロウイルス検 査、水質検査等も予定どおり行いま した。	異物混入の原因となる 書虫駆除を専門業者に 書気配し、点検、対策、改 善方法の提案を受ける など施設内外の総合的 な衛生管理を実施し、衛 生的な施設環境・作業環 境を整備します。
8	3			学校給食センター	学校給 食セン ター管理	松中の目ま会ルギン東スナ	引き続き調理機器の維持管理を 目的に「壊れる前に直す」ため、 長寿命化計画に基づき、天吊り 式消毒保管機及びコンテナ洗浄 機の点検、部品交換を実施しま す。	天吊り式消毒保管機の点検、部 品交換を実施します。	コンテナ洗浄機の点検、部品交 換を実施します。	真空冷却機、冷蔵庫の部品交換を検 討しています。	長寿命化計画に基づき、 天吊り式消毒保管機及 びコンテナ洗浄機の点 検、部品交換を実施しま す。

木	ŧ式1-	-3 そ	の他に	こ取	り組む	重点事業					【教育委員会】
番号	· 基本目 · 標名称	施策名称	具体的 な施策 名称	所管課	R6予算 事業名	R6現状と課題	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	取組結果	今後の方向性
9		2 魅力ある教育体制	③ 学校給食の充実	学校給食センター	学校給 食運営 事業	中学3年生は将来に関わる重要な進路選択の時期であり、それに伴う準備のため、保護者負担が大きくなっています。	令和6年10月~令和7年3月までの半年間、中学3年生の学校給食費無償化を実施します。 長期欠食者、食物アレルギー対象者、市外の中学校等へ通学する生徒の保護者に対しては「学校給食費無償化給付金」を給付します。	学校給食費の無償化に伴う条例 改正、制度設計、申請様式等の 整備を行います。	中学3年生の学校給食費を無償化するとともに、長期欠食者、食物アレルギー対象者、市外の中学校等へ通学する生徒の保護者に対し、「学校給食費無償化給付金」を給付します。	令和7年1月に市ホームページにて、「学校給食無償化給付金」を広報しました。3月には、対象者に文書送付し、45名に給付金を交付しました。	令和7年度も中学3年生 を対象に「学校給食無償 化給付金」を給付しま す。対象学年拡大につい ては、国や他市町村の 施策を勘案し、研究して いきます。
10) - 1	4 社会教育の推進	③ 自主学級活動の充実	生涯学習課	自主学級事業	女性学級と高齢者学級においては、年々実施団体が少なくなっています。市民に対して事業の周知を行う必要があります。	趣味や教養に関する学習だけでなく、それぞれの年代や地域社会が抱える課題についての学習機会が創出できるよう支援していきます。家庭教育学級については、引き続き県の事業である「みやざき家庭教育サポートプログラム」の積極的な活用を促し、実りある活動につなげていきます。	各学級の募集案内や開設説明 会を開催するとともに、委託料の 交付、活動支援を行います。	家庭教育学級学級長会を開催 するとともに、実績報告の確認、 活動支援を行います。	家庭教育学級においては、「みやざき家庭教育サポートプログラム」を必須講座とし、開設した全部の家庭教須講座とし、開設した。また、10月には家庭教育学級長会を開催し、改めて家庭教育について考える機会を設けました。	保育園、幼稚園の家庭 教育学級の開設を促し ていきます。
11	教育文化	5 図書館サービスの充実	① 図書館機能の充実	図書館		コロナ禍により減少していた来館者数・貸出冊数が回復してはいますが、コロナ禍以前の水準には届いていない状況です。	引き続き図書館サービスや利便 性の向上を図ります。	し、新しいサービスを取り入れた り、新しいイベントを打ち出し、そ れをホームページや公式LINEで	れをホームページや公式LINEで	持ち込み学習を館内全体で可能とするなど過ごしやすい環境づくりに取り組みました。また、「よるのとしょかん」や「LINE限定読書マラソン大会」など新たなイベントを開催し、図書館公式LINEから発信しました。おはついては、7月~3月まで延べ229人の利用がありました。令和6年度貸出冊数は合計203.096冊(個人貸出164,457冊、団体貸出38,639冊)となっており、令和5年度合計193,136冊と比較すると9.960冊増加しましたが、コロナ禍前の水準には戻っていません。	や仕掛けを追求するとと
12	2	~	② 読書活動の	図書館	生涯デン ディア(図書育業	既存のボランティア団体については、会員の高齢化が課題となっているため、様々な方法でボランティアの育成・確保を行う必要があります。	既存団体「友の会」の活動支援 や有志団体との連携を継続する とともに、新たな図書館ボラン ティアの育成・活用を図ります。		各ボランティア団体と次年度の活動に向けた協議を行い、事業計画を立てます。 団体に属さない形でボランティアを希望する人の受け入れの仕組みを整備します。	既存ボランティア団体の活動支援や 有志団体との連携を継続するととも に、新たな図書館ボランティアの育成・活用を図りました。	各ボランティア団体と次 年度の活動に向けた協議を行い、事業計画を立てます。 団体に属さない形でボランティアを希望する人の 受け入れの仕組みを整備します。

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

番号	基本方針	取組項目	実施項目	所管課	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	取組実績				
1		広報・広聴活動の充実	市政の情報発信の 充実	教 務育 課総	市広報紙、市ホームページ、フェイスブッ ク等を活用して、周知を図ります。	市広報紙、市ホームページ、フェイスブック等を活用して、周知を図ります。	市広報紙、市ホームページ、フェイスブック等を活用して、周知を図ります。	市広報紙、市ホームページ、フェイスブック等を 活用し、周知を図りました。				
2				図書館	図書館だよりの発行、ホームページ運営、公式LINE活用	図書館だよりの発行、ホームページ情報 更新、公式LINEによる情報発信	図書館だよりの発行、ホームページ情報 更新、公式LINEによる情報発信	・ホームページを運営するとともに、図書館だよりを発行しました。 ・図書館公式LINEの登録者数:1,150人(令和7年3 月末時点)				
3	市民に信頼		市民ニーズの的確 な把握	生涯学習課	社会教育活動に関する参加者募集など について、市広報紙や生涯学習だよりな どを積極的に活用し、周知を図ります。	様々な事業の参加者募集などの告知を行います。	講演会や発表会などの告知を行います。	生涯学習だよりを2回発行し、主催講座や日向きらめき 人、市役所出前講座の周知を行ったほか、人権講座の 開催案内、放送大学関連案内などについては、市広報 紙や市公式LINEなどのSNSの積極的な活用を行いまし た。				
4	- される行 -								図 書 館	市民のニーズを的確に把握します。	リクエストサービスを実施するとともに、 貸出・予約ランキングの把握を行いま す。	リクエストサービスを実施するとともに、 貸出・予約ランキングの把握を行いま す。
5	++	職員の育成	災害に対する職員 対応能力の強化	教 務育 課総	施設を定期的に点検し、危険箇所の把 握を行います。	定期的な施設点検を行いました。	定期的な施設点検を行いました。	定期的に施設点検を行いました。				
6	ス の 提 供		窓ロサービスの充 実	図書館	市民の要望に的確かつ最大限に対応し ます。	レファレンスサービス、マイライン等ネット ワーク活用の相互貸借を行います。	レファレンスサービス、マイライン等ネット ワーク活用の相互貸借を行います。	・市内外からのレファレンスに対応しました。・要望のあった本についてネットワークを活用し相互貸借で取り寄せました。				
7		市民に開かれた市役所づくり	電子行政サービス の充実	図書館		ホームページ、公式LINEからのネット貸 出予約の受付を行います。	ホームページ、公式LINEからのネット貸 出予約の受付を行います。	・ホームページからのネット貸出予約の受付を行いました。 ・ネット在架予約、ネット貸出延長をしました。 ・ホームページ(PC版・携帯版) や公式LINEを活用しました。				
8		情報公開と個 人情報の保護	情報公開制度と個 人情報保護制度の 適正な運用	全課	研修を通して理解を深め、個人情報保護 の適正な運用に努めます。	正な管理に努めます。 研修に参加し、理解を深めます。	不要な個人情報の廃棄処分を行い、適 正な管理に努めます。 研修に参加し、理解を深めます。 日向市個人情報保護法施行条例を遵守 します。	研修に参加し、個人情報保護についての理解を 深めました。保管している情報を確認し、適正な 管理に努めました。				

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

<u>13</u>	<u> 八 </u>	一年 打別以以早入禍に奉 ストナリョニ 大利						【教育安貝会】	
番号	基本方針	取組項目	実施項目	所管課	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	取組実績	
9				全 課		共有と連携を図ります。	教育委員会部課長会などを通して、情報 共有と連携を図ります。 日頃から担当業務の改善に努めます。	普段から情報共有を心掛け、効率的な業務遂行 を推進できました。	
10	効	計画的な行政経営の推進	事務事業の見直し	図 書 館	業務の簡素化・効率化を図ります。	依頼文書、手順の見直しを行います。	依頼文書、手順の見直しを行います。	職員間(会計年度任用職員含む)の業務連絡に ロゴ・チャットを活用し、業務の簡素化・効率化を 図りました。	
11	効 果 的 ・ 効		民間活力の活用	図書館	図書館ボランティアの活用	ボランティアによる読み聞かせ、ブックリペア、花壇の手入れを行います。	ボランティアによる読み聞かせ、ブックリペア、花壇の手入れを行います。	読み聞かせやブックリペア、植栽等に活用しました。	
12	効率的な行政経営の推進	行政運営の効 率化の推進		ICTの利活用	図書館		インターネット端末の設置、端末による	マイナンバーカードの図書館利用カードとしての活用、フリーWi-Fi環境の提供、インターネット端末の設置、端末による蔵書検索・予約等情報環境の充実を図ります。	・マイナンバーカードの図書館利用カードとしての活用を推進しました。 ・公式LINEを開設し、図書館利用カードとのアカウント連携を行うことで、利便性を向上させたことと、図書館からの情報を登録者に毎週発信しました。 ・その他、従来からの取組として、フリーWi-Fi環境の提供、インターネット端末の設置、端末による蔵書検索・予約等を行いました。
13			職員の働き方改革	全 課	繁忙期においては、課内で協力しながら 事務の分担を行い、時間外勤務の改善 を図ります。	係長会や係会を行い、各担当が取り組 んでいる業務の状況を共有します。	係長会や係会を行い、各担当が取り組 んでいる業務の状況を共有します。	業務の進行状況を把握し、係内で協力・分担することで業務が滞ることのないよう努めました。	

様式1-4 行財政改革大綱に基づく行動計画

ľ	教	苔	季	昌	슾	1
	水	П	玄	ᆽ	ठ	7

								IMIXXXXI	
番号	基本方針	取組項目	実施項目	所管課	R6取組内容	R6上半期	R6下半期	取組実績	
1-	未来につなず	適正な財政運 営	第三セクターの経営 健全化		(公財)文化振興事業団の健全な事業運	文化交流センターの2階席階段部や楽 屋廊下部防水工事、舞台モニターカメラ		予定していた工事はすべて年度内に完了し、事務室等の照明LED化工事も前倒しで実施し完了することができました。	
1	でる 財 政 運	自主財源の確 保	白土肚流の珠		教 育 課 務	定期的な催告、訪問等により、滞納者の状況把握と納付指導を行います。	納入状況の確認や催告を行いました。		納入状況を整理し、催告や訪問などを通して、滞納者の経済状況を把握しながら回収に繋げました。
1	営		債権管理の推進		納入が遅れている場合には、今後も電話や文書にて催告を行っていきます。	納入状況の確認や催告を行いました。	納入状況の確認や催告を行いました。	納入状況の確認を行い、遅れている場合は、電話や文書にて催告を行いました。	